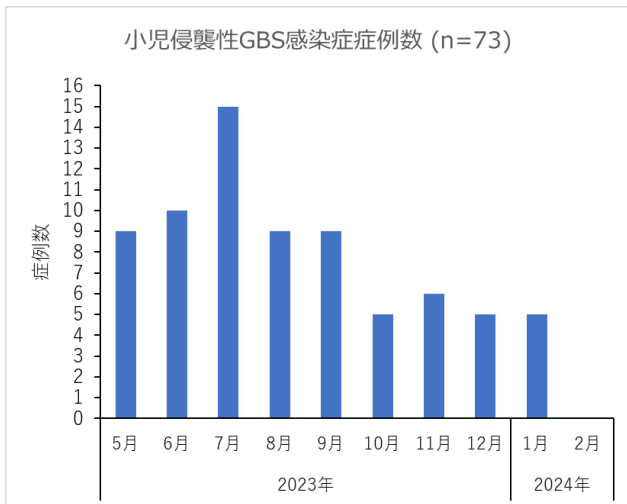


平素より当研究に御賛同・御協力いただき、心より感謝申し上げます。

2023年5月～2024年2月までに御登録いただきました、計73例の小児侵襲性GBS感染症疫学情報（暫定値）を報告いたします。

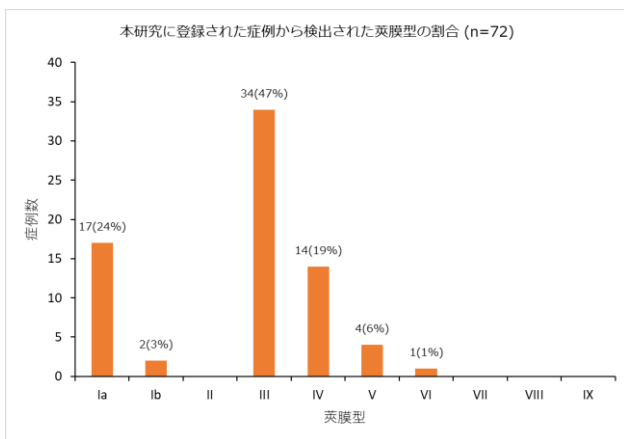
・研究対象患者：15歳以下の小児で無菌検体からB群連鎖球菌（GBS）が検出された患者

(1) 発症年月別小児侵襲性GBS感染症報告数
(n=73, 2023年5月～2024年2月)

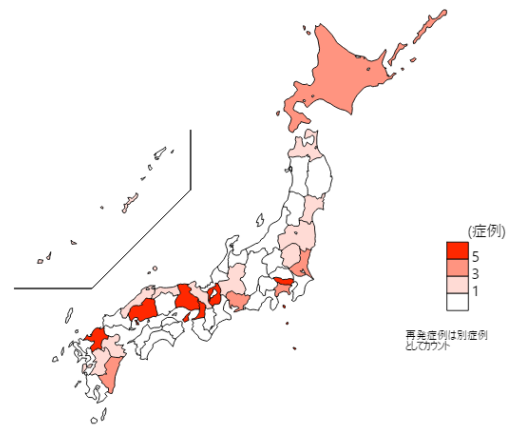


(再発例は別症例としてカウントしています。)

(2) 莢膜型分布
(n=72, 報告時解析分のみ結果)



(3) 各都道府県における症例数分布 (n=73)



研究班からのメッセージ

- 現在国立感染症研究所における一括審査施設追加に時間を要しております。お待たせしてしまっている御施設の先生方にお詫び申し上げます。
- III型が主要な莢膜型ですが、IV型の症例が増加しています。
- 後ろ向き菌株登録の全ゲノム解析に時間を要しております。結果の返却にお時間を頂いてしまい申し訳ございません。
- 引き続き小児の侵襲性GBS感染症が発生しましたら igbs-japan@nih.go.jp へ御連絡下さい。

研究班 HP <https://igbs.jp/>



研究代表者 菅井 基行

主任研究員 中野 哲志、笠井 正志

芝田 明和、大竹 正悟